

宗像市市民参画等推進審議会会議録（会議内容要点筆記）

日 時	平成30年10月25日（木）9：00～11：20
場 所	宗像市役所 204会議室
委 員	*■出席 □欠席（五十音順、敬称略） ■ 鎌田隆徳 ■ 川野頭太郎 ■ 木村健次 ■ 佐藤靖成 ■ 種田明美 ■ 時枝寛 ■ 東博子 ■ 福岡佐知子 ■ 山田明 ■ 吉田晴希 （五十音順、敬称略）
事務局	コミュニティ協働推進課（中野課長、中脇係長、神、元岡、大久保）

1. はじめに（9：00～9：10）

（課長あいさつ）

- ・市民サービス協働化提案制度に関して、2団体から提案があった。慎重かつ積極的な議論をお願いしたい。

（東会長あいさつ）

- ・本日は再々提案をする2団体の審査会である。各委員には、団体に対する質疑応答について、時間が限られているため、各委員が質疑できるように考慮していただきたい。

2. 個別審査（9：10～10：30）

- ・各提案団体から提案事業内容等に関する説明後に、市の担当課から提案事業内容等に関する意見の口述を行った。その後、審議会委員による質疑応答を行った。

①公益社団法人宗像青年会議所「宗像市成人式事業」

市担当部署；文化スポーツ課

《質疑等》

（質疑）講師の選定基準について説明してほしい。

（団体から回答）「夢をあきらめないこと」「努力することの大切さ」を新成人に伝えることができる講師を市の担当課と協議しながら選定している。

（質疑）運営経費についてアピールしたいことはないか。

（団体から回答）市の委託料だけで宗像市成人式事業をすることは厳しいところがあるが、現在、青年会議所に在籍する会員の人脈を活かして、スライドビデオの作成及び講師の依頼等に関して通常より安価な経費で行う事が出来ている。

（質疑）毎年企画内容が変化していない印象を受ける。世界情勢が激しく動く中で、講師を選定する際に国際的な要素を入れてはどうか。

- (団体から回答) 青年会議所はアメリカ発祥の団体で、常にグローバル化というものを意識している。成人式の企画内容に、国際的な要素を入れることは議論をしている。
- (担当課から回答) 毎年基本的な企画内容は、変更していない。理由としては、対象者が毎年変わり、また、企画内容が長年成人式事業を進めてきた中で洗練されたものであると考えているからである。国際的な要素を入れることについては、講師の選定において委員のご意見を反映させることができるのではないかと考えている。
- (質疑) 新成人の代表挨拶の選定基準について説明してほしい。
- (団体から回答) 一昨年までは、各学校の生徒会長に声をかけていたが、去年は、宗像で女性の大工として活躍されている方に挨拶をしていただいた。今までにはないような新成人の挨拶も考えながら進めている。
- (質疑) 平成29年度成人式の講師である宇梶剛士氏の講演内容はどのようなものであったか。また、講演時間はどのくらいか。
- (団体から回答) 「転んだらどう起きる」という講演タイトルで、若いころに過ちを犯しても自分の思いのもとに努力をすれば成功する、転んでも起き上がり、強い気持ちをもってほしいという講演内容であった。講演時間は約1時間である。
- (質疑) 成人式事業の問題点はあるか。
- (団体から回答) 問題点は、毎年成人式終了の際に、ユリックスの中央の広場に新成人が集中してしまい、新成人が建物から出ることが困難になる状況が発生しないようにすることである。誘導スタッフの人数を増やし、努力はしている。
- (質疑) 新成人の講演についてのアンケート結果はどうだったか。
- (団体から回答) 約9割の参加者が「聴いてよかった」という回答であった。
- (質疑) 担当課との協議はどのくらいの頻度で行っているか。
- (担当課から回答) 本番前は、直接会って協議することは週に一回程度。主にメールや電話を使って密な打ち合わせを行っている。
- (質疑) 今年度の講演内容は決まっているか。
- (団体から回答) まだ決まっていない。
- (質疑) 新成人の方々にも宗像市の世界遺産について理解していただきたい。また、宗像市の活性化のために頑張っていける世代に響くような講演内容にしてはどうか。また、宗像市で活動している地域おこし協力隊等、宗像の身近な話ができる方に講演の依頼をしてはどうか。
- (団体から回答) 世界遺産については、成人式の際に配布するパンフレットに内容を取り入れている。成人式を通じて宗像についての知識や魅力などをPRするように考えている。
- (意見) 講演内容について、世界遺産の話も含め、宗像への地元愛が芽生えるような内容があればいいと思う。

②PENTAGON (旧むなかた市民フォーラム)「市民活動推進事業」
市担当部署；コミュニティ協働推進課

《質疑等》

(質疑) PENTAGONと各地区コミセンでどのように関わり、協力し合って活動していくのか。

(団体から回答) 昨年度からは、SNSを活用した情報発信の仕方等について研修会を通じて、NPO・ボランティアセンターのもっているノウハウを各地区コミセンに伝える機会を作っている。これからはノウハウを伝える機会をより増やしていきたい。また、一緒に事業を実施することはこれから関わりを増やす中で実現したい。現在、ロープレなど一部事業で関わりがある。

(意見) 情報発信に費用が多くかかっているコミセンもあるようだ。センターの持っているノウハウを伝えることで力になっていただきたい。

(質疑) 「PENTAGON」を立ち上げた理由について説明してほしい。

(団体から回答) むなかた市民フォーラムの活動内容が多様化する中、団体としての活動目的が不明瞭になっている部分があった。その点を整理するために、スタッフ内で会議を重ねる中で、団体を解散する方針が定まり、NPO・ボランティアセンターにおける役割を引き継ぐ団体として、PENTAGONを立ち上げた。その際、新団体では、市民の人たちにむけてまちづくりへの参画のきっかけを作っていくということを目的に活動していくことに決めた。名称に対する抵抗感を払拭するために成果を上げ、市民にも浸透していくように努力していきたい。

(意見) むなかた市民フォーラムの立ち上げは15～16年前になり、現会員の中でも立ち上げに関わっていたのは数名である。また、活動の幅が広くなり過ぎており、会員がお互いの活動や団体の活動目的を把握できていないところもあったようである。

(質疑) 人づくりでまちづくり事業補助金の申請団体に対して、補助金終了後の活動継続が重要であるという補助金の趣旨説明を徹底してほしい。

(団体から回答) 補助金の採択を受けた団体スタッフの育成は、PENTAGONとしても課題と考えているところである。補助金の趣旨を申請団体に理解してもらえるようより力を入れていきたい。

3. 総合審査 (10:40～11:20)

①公益社団法人宗像青年会議所「宗像市成人式事業」

審査結果：採択

【提案団体に対して】

- ・毎年、警備、誘導で退場時に問題が発生しているのであれば、例年とは違うやり方も検討してはどうか。
- ・参加する新成人が満足するようなプログラムの開発や創造をさらに進めてもらいたい。また、企画内容に新成人の意見を取り入れることを検討してほしい。
- ・講師の選定にあたっては、今後も担当課と目的を共有し、十分に協議し、慎重に決定すること。

【担当課に対して】

- ・少子化で参加者の減少が見込まれる今後、成人式場を活用し、Uターンなどの可能性も含め、宗像市に帰ってきたいくなるよう宗像市のビジョン等を伝える場とすることを検討すること。

②PENTAGON（旧むなかた市民フォーラム）「市民活動推進事業」

審査結果：採択

【提案団体に対して】

- ・人づくりでまちづくり事業補助金の申請団体に対して、補助金の趣旨説明を徹底すること（補助金が終了したら、無くなる団体が多いため）。
- ・PENTAGONの名称と活動内容、新規企画を早く市民に浸透していける工夫と努力をすること。
- ・ロープレやLDAなど、若い世代向けの企画では、参加者を増やせるよう、広報に力を入れること。

【担当課に対して】

- ・今後も、提案団体と丁寧に協議しながら、市民活動の推進に協働で取り組むこと。

4. その他

なし

= 散 会 =